

笹川日中友好基金のこれまでの歩みと将来

笹川日中友好基金回顾与展望

笹川日中友好基金は、1989年12月、日中両国の永久平和と相互理解の促進を目的に、日本財団（正式名称：財団法人日本船舶振興会）の援助により、笹川平和財団に設立された地域基金の一つです。これは、世界の恒久的平和を切望した日本財団初代会長・故笹川良一氏による発案です。

設立は、ちょうど天安門事件直後でした。西側諸国が中国に経済制裁を発動し、日本政府も当初、中国に対する円借款を凍結しました。しかしその後、日本政府は中国が国際的に孤立化するのは望ましくないと判断し、他国に先駆けてその解除に動き出しました。そうした時代背景のなかで生まれた当基金も、中国を支援するひとつの動きとして中国側から絶大な歓迎を受けました。

設立ののち、さっそく、中国国際友好連絡会を中国側パートナーとして、人的交流活動を開始しました。中国各界の著名人やメディア関係者、行政官などを日本に招く一方、日本の大学生や日本語教師を中国に派遣しました。また、中国の経済体制の転換を促進するため、日本の経営管理技術などのノウハウを提供する事業を実施しました。

1992年には、天皇皇后両陛下が訪中されました。これは日中関係の新時代を告げる出来事でした。その翌年の1993年、当基金は基金額を50億円増額し、総額100億となりました。これ以降、日中間を取り結

ぶ民間基金として最大規模となりました。

1990年代後半には、来たる新世紀の日中関係を担う人材を育成し、新たな協力関係を構築することを目標に掲げ、人材育成、視察研修、調査研究、会議開催などの事業を盛んに実施しました。

21世紀を迎えたころからは、これまで通り中国の社会発展を支援しつつ、さらに新たな課題として、日中間の安全保障分野での人的交流促進と、歴史認識問題の緩和にも取り組みはじめました。

以上のように、当基金は設立から今日にいたるまで、一貫して日中両国間に存在する諸問題に取り組んでまいりました。刻々と移り変わる時代環境の変化の中で、つねに問題の所在を明確に意識し、その対策を実践することに力を尽くしてまいりました。

「なによりも、人こそが両国間の協力関係を維持促進する要（かなめ）である」。当基金はこの信念のもとに、人材育成と相互理解の促進を図り、さらに、世界の中での日中関係も視野に入れて、社会提言と世界発信を心がけてまいりました。

その事業総額はこれまでで約26億円、事業数にして約300、参加した人々の数は招へい・派遣・人材育成・セミナー・シンポなどを合わせると延べで日本人5,677人、中国人1万1,727人に及びます。

理解を促し、人を育て、協力を重ね、未来を創る。今後もこの方針のもとに、笹川日中友好基金は未来志向型の事業を実施してまいります。



为目标，广泛开展了包括人才培养，考察研修，调查研究以及举办会议等多种多样的项目。

进入21世纪以后，基金在继续通过开展多种项目支持中国社会发展的同时，又面对新的课题开始了新的尝试，包括促进两国防务领域人员的互动以及缓解历史认识问题给两国关系带来的矛盾等。

综上所述，笹川日中友好基金自诞生之日起，就一直在全力应对两国之间存在的各种问题，在瞬息万变的国际形势下，全力捕捉问题的实质，并将解决问题的对策反映在具体实践当中。

我们深信，人才是维护两国关系发展，进一步增进合作的关键。基于这一信念，笹川日中友好基金在着眼培育人才，增进理解的同时，也充分意识到要在全球范围内为日中关系定位，并以此为目标为社会发展献计献策，努力使日中联合发出的信息传到世界每一个角落。为达此目的，基金迄今为止共注入了约26亿日元的资金，实施开展了各类项目近300个，使直接参加基金项目的日方各界人士的总数达到了5,677人次，中方人士总数达到了11,727人次。

促理解，育人才，重合作，创未来——笹川日中友好基金今后也将这一方针的指引下，推出更多的面向未来的创新型项目。

笹川日中友好基金创建于1989年12月，以日本财团（正式名称：财団法人日本船舶振興会）提供的50亿日元作为基本财产，旨在维护日中两国永久的和平，增进相互理解。已故笹川良一先生怀着对世界永久和平的殷切期望提出了创立基金的构想。

基金启动时正值六四风波刚过，西方国家正在对中国实行经济制裁，对华日元贷款也被冻结。然而日本政府不久即作出判断，不希望在国际社会上孤立中国，在西方国家中率先解除了对中国的经济制裁，恢复对华贷款。本基金就是在这样的背景下诞生的，并且从问世之日起，就被视作日本援助中国的具体举措，受到中国人民的欢迎与爱戴。

基金成立后，马上与中方的合作窗口中国国际友好联络会齐心协力，推动两国各界的人员互动，包括邀请中国著名画家，新闻工作者，市长访日，同时也向中国派遣大学生交流团以及日语教师等。此外，基金还通过多种项目向中国介绍日本企业经营管理的先进经验，以便协助中国顺利实现经济体制改革。

1992年，天皇和皇后访问了中国。这预示着日中关系进入了一个新的时代。翌年，笹川日中友好基金的规模又增加了50亿日元，总额达到了100亿，作为日中民间最大的基金，发挥着连接两国人民的桥梁作用。

90年代后期，笹川日中友好基金以培养新世纪肩负日中协作重任的人才，构筑新型合作关系

